

土曜日の教育活動について

1 土曜日の教育活動の目的

地域における体験活動や多様な教育活動の充実

学校、家庭、地域の連携による開かれた学校づくりの推進

2 教育活動の内容

教科学習、外部指導者を招いた特別授業・講演会

地域と連携した体験活動（防災訓練、地域行事等）

公開授業、参観授業

3 津市の土曜日の教育活動の実施状況

- (1) 平成27年度の土曜日の教育活動の実施回数 年間8回 原則 第3土曜日

土曜日の教育活動 年間8回	
教育課程 <u>内</u> の教育活動 土曜授業（3限給食なし） 3回以上	教育課程 <u>外</u> の教育活動 土曜活動

- (2) 平成27年度 土曜授業（3限 給食なし）の実施状況

	3回	4回	5回	6回	7回	8回
小学校（51校）	26校	9校	12校	5校	0	0
中学校（20校）	4校	5校	4校	3校	3校	2校

- (3) 平成27年度 他市との比較（土曜授業、土曜活動）

実施回数	実施週	市町数	市町名
年間8回程度	第4週	8	桑名市、木曽岬町、いなべ市、東員町、四日市市、菰野町、朝日町、川越町
	第3週	12	鈴鹿市、津市、松阪市、多気町（小）、大台町、玉城町、伊勢市、伊賀市、名張市、熊野市、御浜町、紀宝町
年間7回	第3週	1	亀山市
年間6回		5	明和町、大紀町、南伊勢町、渡会町、紀北町
年間5回		4	多気町（中）、鳥羽市、志摩市、尾鷲市

4 土曜授業の実施内容（複数回答可）

小学校 (校)		中学校 (校)	
学力の定着・向上	50	学力の定着・向上	21
伝統、文化的な行事	28	伝統、文化的な行事	11
防災学習、防災訓練	25	補充学習・発展学習	7
道徳の時間	24	道徳の時間	6
体力の定着、向上	22	キャリア教育	5
県教委作成ワークシート等	16	防災学習、防災訓練	5
補充学習・発展学習	15	体力の定着、向上	5
図書館を活用した授業	6	県教委作成ワークシート等	3
その他	9	その他	2

5 土曜授業の授業実施方法（複数回答可）

実施方法	小学校	中学校
通常の授業	42校	18校
家庭、地域住民等への公開授業	45校	17校
家庭、地域住民、大学、企業等との連携協力による授業	21校	8校

6 土曜日の教育活動に対する児童生徒、保護者の意見

【児童生徒】

- ① 友達と一緒に過ごせるので嬉しい。
- ② 平日の授業と違った学習内容があってよい。
- ③ 地域行事への参加が増えた。
- ④ 習い事や部活動などの時間と重なるので困る。
- ⑤ 月曜日が疲れる。

【保護者】

- ① 土曜日の授業をもっと充実してほしい。
- ② 今後も継続して進めてほしい。
- ③ 参観しやすく、学校や子どもの様子が分かってよい。
- ④ 土曜日の授業をする必要がない。
- ⑤ 家庭での行事や習い事との調整がより必要となった。

7 土曜日の教育活動の成果と課題

【成果】

- ① 授業時間や補充学習への対応の時間が確保できた。
- ② 保護者や地域の方の教育活動への参加・参画が増加したことにより、多様な教育活動が実施できるようになった。
- ③ 児童生徒の地域行事への参加が増加したことにより、世代間交流が促進された。

【課題】

- ① 児童生徒の休日の活動が過密になり、月曜日に疲れを見せる生徒が多い。
- ② 部活動や社会体育の調整が困難である。
- ③ 家庭での行事や習い事との調整がより必要となった。
- ④ 外国につながる児童生徒の欠席が多い。

8 土曜日の教育活動の総括

土曜日の教育活動は、豊かな体験活動や多様な教育活動の実施が可能となり、地域に開かれた学校づくりとして効果的です。

しかしながら、学校週5日制が定着している現在、休日に豊かな社会体験や自然体験、クラブ活動、習い事などを子どもたちが選択し、活動を行っている状況の中、土曜日の教育活動の実施により、子どもの休日の活動が過密となり、調整が難しくなっていることに加え、月曜日の子どもたちの様子には疲れが見受けられます。

こうしたことから、子どもたちの総合的な学力を向上させるためには、多様で豊かな教育活動を保障するとともに、負担感のない充実した余暇の過ごし方についても検討する必要があります。